

# 競技注意事項

1. 本大会は、2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により競技を実施する。
2. 本競技場における朝の練習は8:15までとする。また、投てき練習は一方向で行い、周囲に十分気をつけて行う。ウォーミングアップでのフィールド内の使用は禁止する。また、競技中のバックストレートを中心としたウォーミングアップは、競技の妨げにならないように注意する。

## 3. 競技者の招集について

- (1) 招集場所は競技場南側ゲートの外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。  
棒高跳のみ、招集開始時刻70分前、招集完了時刻60分前とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	フィールド競技	40分前	30分前

## (3) 招集方法

- ア. 競技者は、招集開始時刻前に、競技者招集所付近に掲示した出場競技者一覧表に、競技者または代理人がチェックする。(○で囲む)
- イ. 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所で待機する。
- ウ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- エ. 他の種目と兼ねて出場する競技者は、そのことを競技者係に申し出て、出場の確認を受ける。

## 4. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、競技役員の誘導に従い規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。トラック内はマーシャル(場内司令)の指示に従う。
- (2) トラック競技出場者は、フィニッシュラインに到着後、北側ゲート(ゴール正面)を通り退場する。ゴール横のゲートからの退場は禁止する。また、本部前の通行も禁止する。
- (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員またはマーシャル(場内司令)の指示に従う。

## 5. ナンバーカードについて

- (1) 使用するナンバーカードは、今年度中使用するもので大切に保管する。紛失した場合は、各自で用意する。(アスリートランキングでエントリーする大会は、1年間、同じナンバーを使用する。)
- (2) ナンバーカードは、必ずユニフォームの胸背に確実に付ける。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかでよい。
- (3) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付ける。(中学生の競技者は、自分で用意したものを使用)。3000m以上の競技は、黄色のレーンナンバーカードを使用する。
- (4) ナンバーカードをつけずに競技に出場することはできない。

## 6. 競技について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- (2) スパイクは11本以内、長さは9mmを超えてはならない。走高跳・やり投の場合、12mmを超えてはならない。
- (3) 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。検定時間は、8時30分までとする。検定場所は、招集所側用器具庫付近で行う。棒高跳用ポールは個人所有のものを使用できる。
- (4) 不正スタートは1回で失格とする。スターターの合図は英語で行う。([「On your marks」]「set」])
- (5) トラック競技におけるスターティングブロックセット後のスタート練習は、時間短縮のため30mまでとする。同様にハードルは2台とする。
- (6) 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュライン到着後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- (7) 男子中高110m JHの、高さ/間は0.991m/9.14mとする。
- (8) 女子高100m Hの、高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。
- (9) 女子中高100m YHの、ハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。
- (10) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技妨げにならない範囲で認める。ただし、ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等を競技者に見せることは可能だが、競技者が試技場内に持ち込むことはできない。
- (11) 走高跳のバーの上げ方については、当日に決定する。なお、2ピットで実施する。

## 7. その他

- (1) 正面開門時間は6:30、ゲート開門時間は6:45を予定している。
- (2) 受付および参加費の納入は、7:15頃から正面スタンド下大会本部で行う。
- (3) プログラムの訂正は、7:45までに大会総務に申し出る。
- (4) 役員全体打ち合わせは7:45からメインスタンド前で行い、その後各パート打ち合わせを行う。
- (5) ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (6) ゴミの始末は各自・各チームが責任をもって行い、競技場にはいっさい捨てないこと。
- (7) テント設置の際は各自・各チームで責任を持って、取り扱い説明書に従い、しっかりと固定すること。
- (8) テントは、野球場側や駐車場周辺には事故防止のため設置しないこと。
- (9) 車の駐車について、2017・2018年円山競技場通行証(札幌陸協発行)のみ駐車することが可能です。当日円山球場は、高校野球大会の開催が予定されています。野球場側へは駐車しないでください。なお、ファウルボールによる車の損傷があっても、当協会では、補償は一切出来ませんのでご注意ください。

## 8. 審判業務について

- (1) 補助員について、ご協力いただける学校等ありましたら、総務(庶務)に人数をお知らせください。その後、人数や担当部署の調整を行います。補助員は7:40にメインスタンド前に集合してください。
- (2) 用器具係担当部署の準備が出来次第、用器具のセットは各パートで行ってください。また、終了後の撤去については、パートごとに行ってください。終了後は用器具係に報告してください。